

# 埼玉県のDX これまでの取組と成果

DXの第2段階TXで県庁の生産性を高め、県民サービス向上へ

## DXへの3ステップ

現在、第2段階の取組を展開中



第3段階  
DX

第2段階  
デジタルイノベーション  
デジタルで仕事のやり方を変える

第1段階 アナログからデジタルへ

ペーパーレスの徹底 コピー使用量 ▲74%(R1比)

## TX (タスク・トランスフォーメーション)

- デジタルを活用して業務プロセスを改革
- 業務効率化により生み出した時間は  
職員のアップスキリングや県民サービス向上へ



デジタル活用

ノーコード  
ツール

文字起こし  
AI

生成AI



# TX (タスク・トランスフォーメーション) の推進

デジタルツールを全職員に導入し、デジタル人材として育成

## ● デジタルツールを使って職員自ら業務改革へ

### ノーコードツール

- プログラミングの知識不要で業務効率化アプリを作成
- 全庁で500アプリを作成中

### 文字起こしAI

- 発言記録を自動作成
- メモ取りや議事録作成作業が不要に

### 生成AI

- 文章の作成・要約のほか、アンケート分析など幅広い業務に活用

## ● 県庁DXを推進する人材を育成

- 各課所で業務改革に取り組むTX推進リーダー(約300人)を育成
- オンラインコミュニティ「デジカフェ」での情報交換や勉強会を開催



# TX これまでの主な取組事例

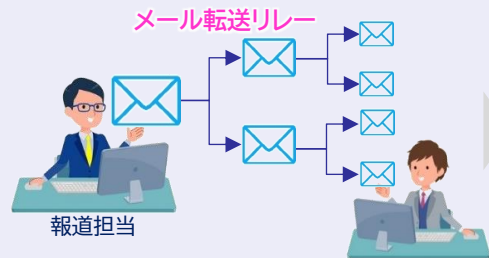
## 報道発表管理TX

### ノーコードツールで情報管理を一元化

- 年約1650件の報道発表案件の内容、進捗、実績等を管理

Before

- メールのやりとりで情報収集



After

- 全庁の作業時間を概算で約4500時間圧縮



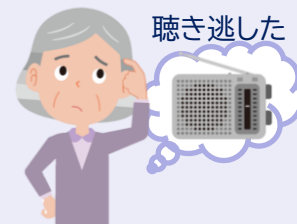
TXで生み出した時間で、実績分析や効果的な発表手法を検討

## ラジオ広報TX

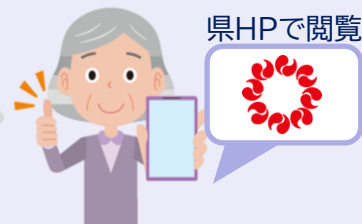
### 放送内容をAIが即文字起こし

- 健康情報を発信するラジオ番組の内容を文字起こしAIと生成AIでテキスト化
- 県HPに掲載し、放送を聴き逃した人もいつでも何度でも情報にアクセス可能に

Before



After



# 行政手続をもっと便利に

## 証明書の添付を不要に

Before

入札参加資格申請等で  
**納税証明書**を添付

県の申請窓口だけでなく  
**県税事務所**に出向く必要



県庁内の情報共有システムを構築

After 納税証明書を**添付不要**に

- R5年度から情報連携を開始、現在13の県手続で運用中
- 手続拡大の支障となっている法令の改正を国に要望中

Before

宅建業免許申請等で  
**登記事項証明書**を添付

県の申請窓口だけでなく  
**法務局**に出向く必要

国と地方の情報連携  
モデル事業に参加

After 登記事項証明書を**添付不要**に

- 本年度からモデル事業に参加し、現在77手続を国へ申請中
- 今後も順次、手続を拡大予定

## 講習の受講を手軽に

Before

動物取扱責任者は  
**研修の受講**が必要

平日に営業を休んで  
**研修会場**に出向く必要

動画配信・ウェブテストに変更

After **いつでもどこでも**受講可能に

- 県の講習・研修等のオンライン化をさらに推進



# オンラインサービスを更に充実

GISやメタバースなど、オンラインで提供する新たなサービスを拡充

## 埼玉県GIS(地理情報システム)

- R6年1月に10マップでサービスを開始、今年度末までに49マップに拡充予定
- R7年2月にポータルサイトをリニューアル → マップを探しやすいカテゴリ別表示  
複数のマップの重ね合わせ活用例を掲載

### マップを探しやすいカテゴリ別の表示



子育て・生活



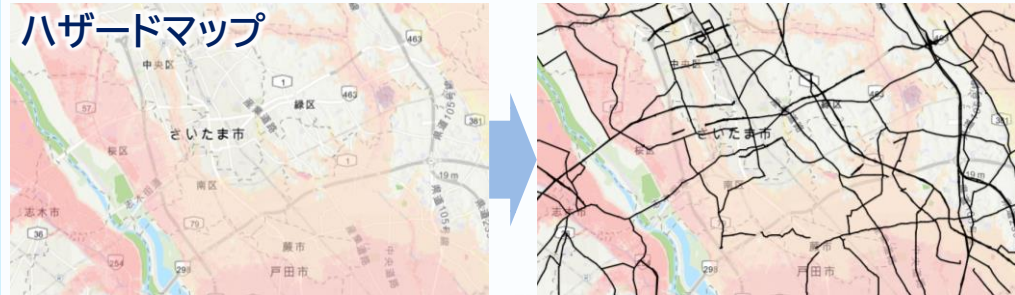
防災・安全



県土・まちづくり

### マップの重ね合わせ活用例を掲載

#### ハザードマップ



ハザードマップ×道路データで災害時の避難ルート検討に活用